

緑化テールアルメ工法

NETIS掲載終了
TH-990034-VE

壁面を全体的に緑で覆うことによって周辺環境に調和します。

●特長

1.テールアルメ工法の理論を適用

緑化テールアルメ工法の構造原理はテールアルメ工法と同じであり、その技術は数多くの実績に裏付けられています。

2.周辺環境との調和

傾斜壁構造のため、視覚的圧迫感を軽減し、また緑化された壁面は自然に融和し無機質な冷たさを和らげます。

3.自由度の高い設計が可能

壁面傾斜角は任意(1:0.2~1.0)に設定できるため立地条件に応じた設計が可能です。

4.優れた経済性

部材の数は少なく、また全てシンプルな形状のものを採用しているので経済性に大変優れています。

5.効率的な施工

メッシュパネルは軽量で、しかも自立性が確保でき効率のよい施工が可能です。

6.フレキシブルな構造

壁面材にメッシュパネルを使用したフレキシブルな構造のため追従性に富み、比較的軟弱な地盤においても施工可能です。

緑化テールアルメ工法(テラトレールF2工法)は、テールアルメ工法の技術を適用しており、安定性に優れた高盛土の傾斜壁面の構築が可能です。また壁面材にメッシュパネルを使用しているため緑化することができます。メッシュパネルは経済性の高いシンプルな形状を採用し、パネル自体の自立性が確保されているので施工性にも優れています。



アクアテール35〈河川用テールアルメ〉

受注
生産

NETIS掲載終了
CG-100020-VR

●特長

1.壁面パネルの耐久性を確保

壁面パネル厚を35cmとすることで耐久性を確保。実施工現場で壁面パネルの耐衝撃を実証。

2.塩害対策地域に適応

鉄筋被りを90mm確保、又はエポキシ鉄筋加工する事により対応可能。

3.大幅なコスト縮減と工期短縮を実現

現場での鉄筋組立・型枠工・コンクリート養生が不要。また、河川側での作業がない為、足場工が不要で仮設費の低減が可能。

4.水浸時の安全性を確認

引抜試験を始め、土圧計測、補強材ひずみ計測など様々な観点で、水浸時の安全性を検証。河川水位以下の盛土材を砕石とする事で急速な水位の変化に対応。

5.施工時の安全性

壁面厚さ35cmと安定性が高い為、設置時の傾斜などの微調整が不要。

アクアテール35は河川に適用したテールアルメです。「国土交通省河川砂防技術基準」「護岸の力学設計法」における大型ブロックと同等の構造モデル「積みモデル」に準拠しております。

